

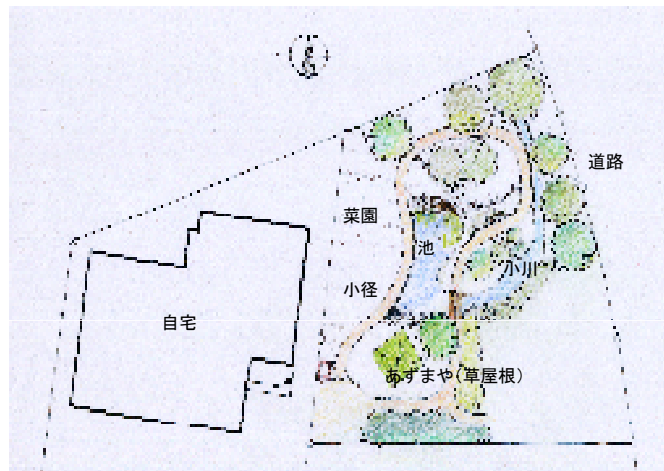
～庭に作る小さな自然～

ビオトープとは...さまざまな野生動物が共存し、生態系が成り立っている空間
 ビオガーデンは...ビオトープに近いけれども、人間の利用面や見た目にも配慮した庭
 『手づくり！水のある庭』（立風書房）櫻井氏の言葉より

12年前に自宅の設計を手がけた、つくば市のK様
 2002年春のこと「自然環境を呼び戻すために
 《ビオトープ》を作りたい」との連絡がありました。
 検討の結果、近隣への影響を考慮して《ビオガーデン》と
 し、ふれあい、楽しめる空間としました。

小高い雑木林 チョロチョコと流れる小川
 木の橋を渡り 小径を歩いて自然観察
 いつの日か小鳥が訪れ
 新しい植物が芽生え
 小さなせせらぎに生物が宿り・・・

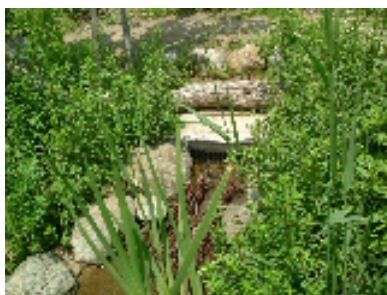
考えただけでも、わくわくしてきます。（赤木裕子）



自宅の庭にビオガーデンを取り入れて

・・ 施主からのメッセージ ・・

3年前、隣接地を購入する機会があり、ビオガーデンを作りました。
 自宅新築時は畑に囲まれていたのですが、あっという間にアパートと駐車場になり緑は激減、寂しく思っていたところでした。
 四季の草木と池があるだけで、ホッと心が休まります。
 自然といっても日々の手入れは必要で、フルで仕事をしている私には、重労働の日もありました。昨年は猛暑でもありましたので、草取り時の蚊の訪問も多かったのですが、蚊もいないようでは、カエルは生きていけませんから、自然を楽しむということは、こういうことか！と実感したりして...。
 小さなスペースでも、水場と緑があれば生き物の中継点になり、周辺の野生動物が増えると言われています。
 山菜、田畑が、消えていく今日、少しでも、自然保護のプラスになれば、とも思っています。（K様）



ビオガーデン概要
 施主：K様（つくば市）
 基本計画：赤木裕子（茨城県建築士会々員）
 設計施工：櫻井淳（静岡岡グリーンサービス）
 敷地面積：244㎡（ガーデン部のみ）

ビオガーデンの現在の状況です。
 池にはクロメダカやドジョウ
 ウ・・・
 トンボも遊びにくるそうです。
 100種前後の新しい植物が自然
 に生えてきました。

2003年4月
 建築士会女性部会セミナーでガーデンを見学した後
 ビオトープについての勉強会をしました。
 2004年10月
 ビオガーデンのその後・・・と題して、植物の観察と
 説明をしていただきました。



2002年3月
 河合邸の隣接地が更地になり
 売りに出されました。



2002年10月
 ビオガーデンの工事が
 始まりました。



2002年11月
 完成・・・植栽も終わりましたが
 まだ寂しいですね。



2003年7月
 植物が育ち、
 緑がきれいになってきました。



2004年5月
 すばらしい植物の生命力です。
 やすらぎのスペースとなりました。

赤木裕子住宅設計室

リフォーム工事部
赤木住研